

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

## 日本で働く ベトナム人のために



フン タイン タムさん

ベトナム社会主義共和国出身 仙台市在住  
宮城労働局 外国人労働者労働条件相談員  
ベトナム語担当

—ご出身と日本語を学び始めたきっかけについてお聞かせください。

ベトナムの首都ハノイ生まれ、ハノイ育ちです。

日本語を学び始めたきっかけは、進路がまだ決定していなかった高校3年生の時に読んだ本の中に、空の世界に住む神様たちのひとりがあやまちを犯してしまい、罰として人間の世界に行き、日本語を勉強させられることになったという印象的なエピソードがあり、日本語に興味を持ったからです。そんなに難しいならとチャレンジしたくなり、ハノイ大学の日本語学部に進みました。当時、日本語は、英語のような学習環境が整っていませんでした。やはり日本語は難しいと学習のモチベーションが下がった時期もありましたが、民間の夜間日本語クラスを見つけ、2人の日本人講師から週3回指導を受けました。厳しくはありましたが、先生方の熱意を感じ、彼らの教えに応えたい気持ちが生まれ、頑張ることができました。

—日本へ留学されていたことがあるそうですね？

大学3年の時、在ベトナム日本大使館で試験を受けて国費留学生として京都大学に1年間留学しました。親元を離れ、初めての一人暮らしでした。全てが日本語の環境であることや、様々な国からの留学生との交流から、新しい世界が開けたと感じました。日本に来るまで3年近く学んでいた日本語でしたが、この1年でさらに3年分の日本語を習得できたと思います。そして自国に帰って大学を卒業したら、必ず日本へ戻って来ると決意しました。ベトナムへ帰国するとすぐに日本の大学、指導教官や日本の民間企業の支援等について調べました。行き先は京都大学か東北大学か迷いましたが、のちに夫となった友人のいる仙台に来ることを決めました。修士課程では国際文化研究科に在籍しました。大学時代に学んだ日本語と研究で使う日本語は違い、論文作成で大変苦労しましたが、ここでも教授に厳しくも熱心に指導していただき、無事修了しました。

—ベトナムでの日本のイメージはどのようなものがありますか？

社会主義国という環境もあり、私が子供の頃は国外の情報はあまり入って来ませんでした。ベトナムでも「おしん」がとて人気でした。実は、ベトナムではお手伝いさんのことを「おしん」と呼んでいます。とはいえ、「おしん」には苦労ばかりのイメージがあるせいか、最近ではそう呼ばれるのは好まれなくなってきたようです。

—ご家族のことや日本での生活について教えてください。

ベトナムでの大学生時代にハノイに駐在していた日本人男性と知り合い、日本で結婚し、今は2人の娘がいます。妊娠が分かったとき、ベトナム語と日本語の出産関係の本を買い込み、産科で医師や看護師とのやり取りに困らないよう勉強しました。子供達はベトナム語で育てています。日本語は周りから入ってきますが、ベトナム語はそうではないので、夫は話すのが苦

手になってきましたが聞くのも読むのも問題ないので、家庭では日常的にベトナム語が飛び交っています。また、大学院を修了後、子育てをしながら仙台市内で仕事をしてきましたが、夫の仕事の関係でこの春まで名古屋に住んでおりました。京都、仙台をそれぞれ第二第三の故郷と思っていたが、名古屋も大好きになりました。

—日本の会社でのお仕事はどうでしたか？

日本人の働き方を見ていて感じたのは、正確さを求め、ミスを許さないことです。ベトナムではミスがあっても寛容なところがあり、先へ先へと仕事を進めていきます。日本では、私が勤めていた職場の特徴なのかもしれませんが、書類の作成者はダブルチェックをし、上司が確認し、次の上司、次の上司と計5回ぐらいの確認が行われ、書類が完成するまで1日かかっていました。私も慎重な方でメールの送信前に何度も確認するタイプですが、さすがに1日がかりなものには驚きました。

—増加しているベトナム人労働者のために、宮城労働局では、4月からベトナム語での相談対応を始めていますね。こちらでのタムさんのお仕事について教えてください。

宮城労働局で週3日ベトナム語で労働条件についての質問や相談に対応しています。相談を始めてから日が浅いので、過去のトラブルの事例を基に労働基準法と照らし合わせたり、分からないことは職場の皆さんに質問したりして、色々な相談に応じられるよう日々勉強しています。窓口相談もありますが、ほとんどが電話相談です。電話の場合、宮城県内だけでなく全国からのベトナム語での相談に対応しています。

—ベトナム人のことで知ってほしいこと、日本で働くベトナム人に伝えたいことはありますか？

ベトナムより海外で働いたほうが収入が良いと思われているため、海外で仕事に就きたいと考えている若者が増えていると思います。実際、私が仙台に留学した頃は県内に数十人位しかベトナム人はおりませんでした。今や3000人以上です。全国規模ですすでに30万人を超えています。日本政府が外国人労働者受け入れを拡大している影響もありますが、私費で日本語学校等へ留学することも容易になり、その後日本で職に就ければ、自国よりも多額の給与を得られると希望を持って来日する若者が増えています。しかし残念なことですが、日本のことをあまり知らないまま来日し、働き始めてしまうケースが多々あります。ベトナム人は、「日本人はみな優しい、怒らない」というイメージを持っていますが、実際はそうとは限りません。それが労働関係のトラブル発生につながっている場合もあります。ベトナム人のみなさんには、文化や言葉が異なる環境で働くことは困難が伴い、短期間で高収入を得るのは簡単ではないと理解した上で、覚悟を持って仕事に取り組んでもらいたいし、また在留中には将来の目標に向かってプラス思考で知識や技術習得に励んでもらいたいと願っています。

—最後にこれからの目標を教えてください。

仕事に関しては、労働基準法などしっかり学習して、職場の方々がいちいち質問しなくてもスムーズにアドバイスできるようになりたいです。個人的な目標としては、なにが資格を取得したいと考えています。近年、日本で高齢化が進んでいることから介護に興味を持ち始めたので、この分野の知識を増やしたいと考えています。

※宮城労働局 外国人労働者相談コーナー  
連絡先：022-299-8838

ベトナム語：火、水、金 9:00~16:30

中国語：月、火、木 9:30~17:00



京都大学の修了式で 先生と留学生仲間と一緒に



## ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

## 「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック」

編集:日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会

日本の教育制度や宮城県の高校入試の仕組み、高校通学にかかる費用などについて解説した『日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック』が毎年作成されています。今回は2020年度から変わる公立高校入試制度についても説明があります。中国語、韓国語、英語、タガログ語、スペイン語と新たにベトナム語版ができました。MIAで配布しているほか、進路ガイダンス実行委員会のウェブサイトからダウンロードすることもできますので、是非ご活用ください。

<http://shinro-miyagi.jimdo.com/進路ガイドブック/>

送料をご負担いただければ、郵送いたします。詳しくはMIAにお問い合わせください。

※1言語1部ずつのみの配布となりますので、ご了承ください。



## 多文化なトピック

## 働く外国人が増えています～宮城の在留外国人の状況～

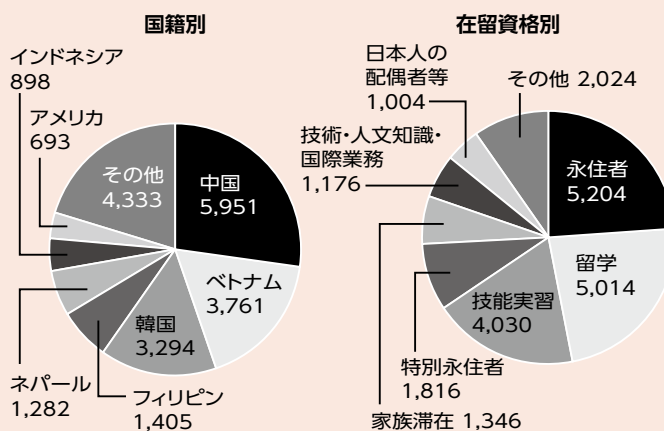
宮城県の在留外国人は、2018年12月末現在で21,614人となり、過去最多を更新しました。震災直後の2011年12月末には14,000人を割り込んでいましたので、わずか7年の間に約8千人も増加したことになります。

国籍別では中国(5,951人)が不動の1位ですが、2位に初めてベトナム(3,761人)が入ったほか、ネパールやインドネシアが震災後に急増しています。

在留資格別では永住者(5,204人)がトップですが、留学(5,014人)や技能実習(4,030人)が大幅に増加しています。飲食、総菜加工、水産業、宿泊、運送、クリーニング、建築、土木、介護など多くの職種において人手不足が深刻化しています。日本語学校や専門学校の留学生や技能実習生はそうした現場において既に不可欠な戦力となっています。

事実上の単純労働者となる在留資格「特定技能」の新設や技能実習の職種の拡大など、国は外国人労働者をこれまで以上に積極的に受け入れる方向性を示しており、今後さらに「働く外国人」が県内で増加していくかもしれません。それに伴い、増加す

る外国人を地域においていかに受け入れていけばよいのか、行政、企業、地域住民などが連携して向き合うことが求められています。(数字はすべて2018年12月末現在、法務省在留外国人統計による)



## JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階

TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

## JICA東北／高校生国際協力プログラム「踏み出そう、はじめの一步」

2019年10月26日(土)10:30～16:30、JICA東北では高校生を対象とした「国際協力プログラム」を開催します。青年海外協力隊や国際協力NGOの話聞き、世界のために自分たちができることや、いい「援助」とは何か、参加者みんなで考えます。高校生のみなさん、初めの一步を踏み出してみませんか？

- ・詳しいプログラムはJICA東北ホームページでご確認ください。
- ・お申し込み：JICA東北まで氏名・学校・学年をお知らせください。

★お問い合わせ/お申込み：JICA東北市民参加協力課

022-223-4772 thictpp@jica.go.jp

★国際協力に関するご相談はいつでもお受けしています。



2018年度の高中生国際協力プログラム



## MIA日本語講座2019年第2期開講!

10月からMIAの日本語講座が始まります。身近に日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。日本語のほか、英語、中国語、韓国語、ベトナム語のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1・2	火～金	10:00～12:00	10月8日(火)～2月5日(水)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥24,000 ※テキスト代別	初級1・2 各20人
中級	火・木	13:00～15:00	10月8日(火)～2月4日(火)	『中級へ行こう 日本語の文型と表現55』	¥12,000 ※テキスト代別	20人
漢字1・2	金	13:00～15:00	10月11日(金)～2月21日(金)	『どどんつながる漢字練習帳 初級』 『どどんつながる漢字練習帳 中級』	¥7,200 ※テキスト代別	漢字1・2 各20人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	10月8日(火)～3月3日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥12,000 ※テキスト代別	初級1・2 各15人

## みやぎの国際活動団体

### 「仙台中国秧歌舞隊（ヤンコ踊りチーム）」

仙台中国ヤンコ踊りチームは、踊りを通して明るい気持ちになれるよう在仙の中国出身の女性達により2011年11月に結成されました。現在25人ほどのメンバーが月に3回、日曜午後に踊りの練習をして、親睦を深めています。

中国東北部がルーツのヤンコ踊りは明るい曲が多く、踊る人も見る人も笑顔になります。基本のステップは簡単ですが、チームで披露する時は振り合わせるので練習が欠かせません。現在は中国全土に広がっていて、その土地独自のスタイルがあります。チームは東日本大震災後に中国からカラフルなコスチュームや扇子を寄贈してもらい、山元町や亘理町の仮設住宅で披露し、また仮設住宅のみなさんと一緒に踊りました。この交流をきっかけに、県内外の様々なイベントに参加してきました。最近では、蔵王町遠刈田温泉でお盆期間中に開催された仮装盆踊り大会に参加し、入賞しました。

結成からまもなく8年目を迎えるチームは、上海スタイルや中国南部の民族踊りもマスターして披露しています。これからも県内外の国際交流や地域参加型のイベントに積極的に参加し、ヤンコ踊りを知ってもらおうと共にみなさんにも私達と一緒に踊ってもらって、中日交流を深めていきたいと考えています。代表者 小関 一絵



2019年8月 蔵王町遠刈田温泉仮装盆踊り大会にて

## サポーターの声

### タ ティ タイン トウイさん MIA国際理解教育支援事業 外国人講師



2009年から技能実習生として山口県で3年働き、ベトナムに帰国しました。日本の生活と日本人の優しさが好きだったので、「また日本に行く」と強い意志をもって日本語の勉強を続けました。数ヶ月後、縁あって留学生として仙台で生活することが決まりました。2年間、日本語を学びました。その後の進路に大学進学を選び、尚綱学院大学に合格しました。現在は、学部4年生として心理学を専攻しています。

大学の先生にMIAの外国人講師の活動を紹介され、「自分の日本語で挑戦したい」と思い、登録しました。ベトナムでは、国際理解教育など聞いたことすらなく、良い機会だと思いました。

先日、高校生と交流するプログラムに参加しました。想像したより緊張せず活動できました。高校生と輪になっての交流は雰囲気良く、話しやすかったです。高校生の中には、よく質問をしてくれる生徒や興味を持って聞いてくれる生徒がいた一方で、消極的な生徒もいました。そのような生徒に興味を持ってもらうのが難しいと感じました。

とても楽しかったので、これからもできるだけ参加したいと思っています。内容をしっかりまとめて日本語で話すことを頑張りたいです。

#### 「国際理解教育支援事業」とは…

地域における国際理解教育の推進を目的として、宮城県在住の外国人講師を学校や団体に派遣する活動です。外国人講師としてMIAに登録したい方、外国人講師の派遣を要請したい学校や団体は、MIAまでお問い合わせ下さい。

## 賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。

#### ●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

#### ●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円

団体会員/1口 10,000円

#### ●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引  
宮交観光サービス(株)

◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

#### ●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。  
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部MIA vol.105

編集・発行  
公益財団法人 宮城県国際化協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp

